



仙台・宮城元気ニュース

～仙台地域の明るく元気な情報を発信！～

平成30年度第4号（通算第53号）
平成30年10月31日発行-隔月発行-
【発行】宮城県仙台地方振興事務所

●今月号の元気な話題●

- 地振** 鳥インフルエンザ対応初動防疫体制備えています
【地方振興部】 1
- 農振** 天下一のブランド米を目指して「だて正夢」いざ出陣！
【農業振興部】 2
- 地振** 「第8回 地元の食材・物産一押しフェア」開催中！
【地方振興部】 2
- 林振** 「県民の森」の枯れ木にご注意を！
【林業振興部】 2
- 水漁** 「三陸塩竈ひがしもの」の販売開始式が開催されました！
【水産漁港部】 3
- 地振** 清流育ち「秋保米」の稲刈り体験・新米試食会が
開催されました！
【地方振興部】 3

みやぎ水産の日 ●今月のおすすめ●

【サンマ】



脂がたっぷりと乗った、秋を代表する味覚です。定番の塩焼きはもちろん、寿司や刺身でもお楽しみいただけます。

鳥インフルエンザ対応初動防疫体制備えています

【地方振興部】

当事務所は、仙台家畜保健衛生所、仙台土木事務所、塩釜保健所など仙台圏域の県地方機関と連携し、管内で鳥インフルエンザが発生した場合に備える活動に力を入れています。

平成30年10月4日（木）には大郷町と連携し、集合施設としての大郷町B&G海洋センター体育館と模擬農場と見立てた運動場を配置し、大郷町内の養鶏場での鳥インフルエンザ発生を想定した防疫演習を行い、訓練参加者、見学者を合わせて147人が参加しました。

防疫演習では、連絡調整会議訓練のほか、殺処分従事者の健康調査や防護服・マスクなどの着脱支援、鶏の殺処分の模擬訓練など、防疫作業の一連の流れを訓練しました。また、仙台市内の資材倉庫から大郷町の演習会場への防疫資材の搬出・輸送についても、実際の発生時を想定し、民間リース会社を活用した訓練を実施しました。

今後は、連携する各事務所とともに、今回の演習で得た課題の改善や明確にしておくべき点のマニュアル化などに取り組み、渡り鳥が飛来することで秋から春の鳥インフルエンザ発生リスクの高くなるシーズンに備えていきます。



連絡調整会議訓練の様子



炭酸ガスによる鶏の殺処分訓練の様子

天下一のブランド米を目指して「だて正夢」いざ出陣！

【農業振興部】

宮城県期待の新品種「だて正夢」が、ついに本格デビューしました。もちもち食感

と甘みの強さ、はっきりした粒感が特徴で、冷めてもおいしい“極”良食味品種です。

9月20日（木）に村井知事とみやぎライシーレディが、青年農業士の遠藤耕太さん（仙台市若林区）の水田で、「だて正夢」の収穫を行いました。

収穫後には村井知事が刈り取った稲を手に取り、「だて正夢」デビューへの想いを「伊達政宗公が実現しなかった天下を、このお米でとりたい」と力強くコメントしました。生産者の遠藤さんは今年の「だて正夢」について、「夏場の水不足など栽培で苦労したが、おいしい米ができるよう努めた甲斐があり、米のできが良い」と太鼓判を押しています。

昨年は生産量が少なく、品切れが続出しましたが、今年は約6倍に当たる約300haで作付けされており、より多くの方に食べていただけたと思います。既に百貨店、米穀店、量販店の一部で販売されておりますので、店頭で見かけた際には是非ご賞味いただき、「だて正夢」の実力をご堪能ください。



村井知事による稲刈りの様子

「第8回 地元の食材・物産一押しフェア」開催中！

【地方振興部】

多賀城・七ヶ浜産の新鮮な野菜や魚介類を活用した料理やお菓子などを地域内飲食店で提供しています。

今回から新たな試みとして、フェア期間中、参加店舗等で配布しているクーポンチラシをご利用の方に、一品サービスなど「参加店独自のサービス」を実施しています。

また、クーポンチラシに印刷されている抽選券で応募すると、抽選で多賀城・七ヶ浜スタンプ会商品券、地産地消詰め合わせセット、参加店サービス券が当たる企画もあります。

参加店は31店舗。和食や洋食、寿司、特産品など盛りだくさん。お友達やご家族等をお誘いの上、ぜひご利用ください。

詳しくは、参加店や商工会ホームページ等でご確認ください。

■開催期間 10月1日（月）～11月30日（金）

■問合せ先 多賀城・七ヶ浜地産地消研究会

事務局:多賀城・七ヶ浜商工会 ☎022-365-7830

■ホームページ <http://www.taga7.miyagi-fsci.or.jp>



フェアのポスター

「県民の森」の枯れ木にご注意を！

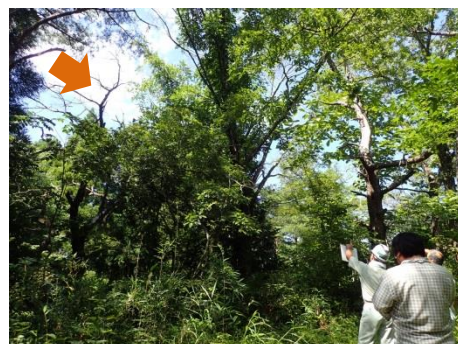
【林業振興部】

県民の森は、澄みきった青空と緑豊かな郷土をつくるため、昭和44年に開園し、年間約25万人の人々に利用されています。仙台市街地と隣接しながらも、遠くに蔵王連峰や太平洋が望め、また、豊富な動植物や史跡にも恵まれており、今では私たち県民の自慢の財産となりました。

ところが近年、県民の森では、病気により枯れたナラの木が市道や遊歩道沿いによく見られるようになりました。このような木は簡単に折れてしまい、太い枝が落ちることがあります。また、強風時には木が倒れて道を塞ぐこともあり、大きな事故につながるおそれがあります。

当事務所林業振興部では、県民の森の管理を委託している宮城県森林インストラクター協会と協力して枯れた木を早期に発見し、可能な限り除去しています。

風が強い時には周囲に特に注意し、枯れた木に近寄らないようにお願いします。



枯れ木除去に向けた調査の様子

「三陸塩竈ひがしもの」の販売開始式が開催されました！

【水産漁港部】

塩竈市水産振興協議会が主体となってブランド化を進めている「三陸塩竈ひがしもの」の販売開始式が9月13日（木）に塩竈市魚市場で行われました。

「三陸塩竈ひがしもの」とは、塩竈市魚市場の水揚げの主力である生のメバチマグロのうち、漁場や漁法、漁獲期間等の明確な要件を満たしたもので、平成18年9月に商標登録され、今年で13回目の出荷を迎えました。

販売開始式では、まぐろ延縄（はえなわ）船3隻により水揚げされた133本のメバチマグロのうち、「三陸塩竈ひがしもの」として認定された16本が関係者に見送られながら築地市場（※）や仙台中央卸売市場等に出荷されました。

式典終了後には、水揚げされたばかりのメバチマグロを地元の寿司店店主らが握り寿司にして振る舞われ、出席者や開会式に招待を受けた市内の中学生達は美味しいと満面の笑みを浮かべていました。

「三陸塩竈ひがしもの」は12月まで出荷され、塩釜仲卸市場内の認定業者店舗などで販売されます。

（※）現在は豊洲市場



「三陸塩竈ひがしもの」出荷の様子



試食会で振る舞われた握り寿司

清流育ち「秋保米」の稲刈り体験・新米試食会が開催されました！

【地方振興部】

秋保温泉の魅力アップと地産地消の推進を目指す秋保環境保全米プロジェクト。秋保地区の生産者とホテル・旅館が連携し、清流育ち「秋保米」をお客様に提供しています。

10月18日（木）に、今年5月に植えた稲の収穫体験と新米試食会を開催しました。

当日は晴天に恵まれ、仙台市立馬場小学校の4、5年生の児童、秋保温泉旅館・ホテルの従業員や秋保米生産者らに加え、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会観光PRキャラクター「むすび丸」も参加し、稲の手刈りを行いました。

稲刈り後に行われた試食会では清流育ち「秋保米」の新米をはじめ、地元食材を用いたおかずや味噌汁が振る舞われ、おかわりをする参加者も多く見られました。



稲刈りの様子



参加者一同



●過去の仙台・宮城元気ニュース●

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/tigenki-news.html>



●仙台・松島エリアの観光情報●

<http://www.pref.miyagi.jp/site/event/>



問合せ先：宮城県仙台地方振興事務所地方振興部（担当：首藤）

TEL：022-275-9140 FAX：022-275-0296 E-Mail：sdsinbk2@pref.miyagi.lg.jp

HP：<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/> ※次号は平成30年12月下旬発行予定です

仙台・宮城元気ニュース [3]